

広報



ごじようめ

発行 五城目町役場 電話 01885 ② 2100 (代)

018-17

秋田県五城目町高崎字雀館下川原64の4

編集 文書広報課

印刷 湖東印刷所

電話 01885 ② 2430

毎月 1日・15日発行

一部 35円

仲よくお母さんのお手伝いをする朝野兄弟 下山内で



兄弟のお手伝いをみて

― 大切にしたい働く心 ―

今どき珍しく

十一月二十三日「勤労感謝の日」小学校四年生の男の子とその弟が豆ひきをしている母親に手伝っているのを見た。弟はたんぼから道路まで、かかえ切れないような束を運び、兄はそれを一輪車に積んで四百〇五百円離れている家まで運んでいた。穴ボコの農道を懸命にふんばりながら運ぶけなげな姿を見ると、新鮮でさわやかで、ついホロリとさせられる。

少し前の農村ではごく当り前の風景であった。今は珍しく、このような姿を求めるのに苦労するくらいだ。それだけに貴重なものを見たような感にうたれた。

子守授業

子どもの手を借りて農作業をした時代と現在では隔世の感があり、社会情勢や労働事情、教育事情の変化を遂げた今日では当然のことかも知れない。

その昔、農繁期ともなると「猫の手も借りたい」という言葉がピッタリとしたもので、妹や弟を背に通学する姿も珍しくなかった。授業中に赤ちゃんはむずかり泣き出す、はてはおしめを取り替える、もう授業どころではなかったが、先生も生徒もだれ一人それに対して文句を言うものはなかった。

田植えどきはまた、苗運びや小苗打ちは子どもたちの役目ときまっていたもので、子どもたちもまた自分の仕事として心得ていた。学校での重労働に薪運びがあった。山元からその冬をしのぐための薪を運ぶのである。三尺の丸太棒を四年生は一〇二本、五年生は三本などと、高学年になるほど本数は増えた。荒なわが肩にくい込み薪はしだいに重さを増して尻の方へ落ちていく。細い山道の登り下りは苦しく汗は出る、はな水は出る、秋の雨は肌をさす、作業の終るころは、先生も生徒も疲労こんぱい、帰りの行進は多くを語らずただひたすら家に着くことばかりを考えた。

小さな積み重ねを大切に

今日の子どもたちは家庭の中で家事の手伝いにどんな役割を果たしているだろうか。そして労働に対してどんな考え方を持っているだろうか。「子守」という言葉が知識としてはあっても、五感の働きをとおして経験したものではない。自ら苦しさの体験のない子どもが、相手の苦しさを理解することはむずかしい。どんな小さなことでもいいから、家の中で子どもの分担をきめて責任を持たせてほしいものだ。家事手伝いという労働の基礎的な体験の積み重ねが、やがて成長してから大きな宝になることを思えば、その行為を大切にしていきたいものだ。勤労感謝の日になんで子どもと労働の問題を提案してみた。

二木さん 八柳さん 晴れの受章

積み重ねた功績認められる

昭和五十六年度秋の褒章大蔵省関係の伝達式は、十一月十九日、同省で行われ、当町の二木敬治さんに大蔵大臣から黄綬褒章が手渡された。

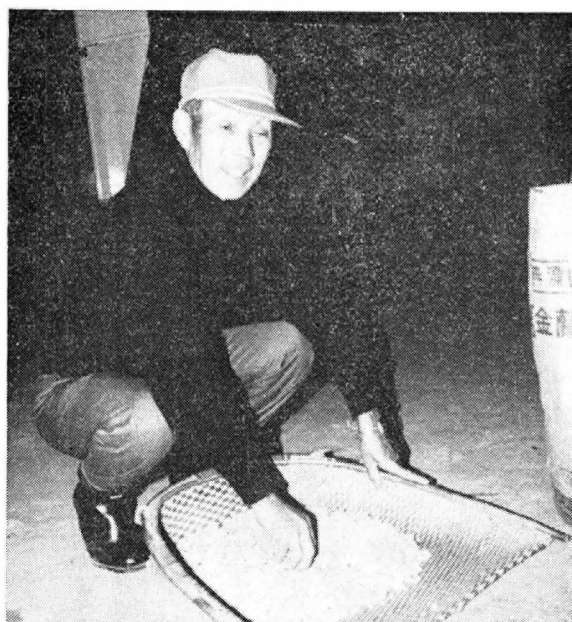
また、昭和五十六年度秋の生存者叙勲消防関係の伝達式は十一月十三日、東京の消防会館で行われ、当町の八柳久一さんに消防庁長官から勲六等瑞宝章が手渡された。お二人は伝達式の後、皇居を訪れ、天皇陛下からおほめとねぎらいのお言葉をいただいた。

昭和五十六年度秋の褒章受章者 発表されたが、当町から二木敬治と秋の生存者叙勲は、十一月三日 さん（七九・一番町）が黄綬褒章

消防団ひとすじ四十年

勲六等瑞宝章 八柳久一

「消防団の活動は苦勞が多かった。しかし、勲章をいただけるとは思っていなかったもので、夫婦そろって天皇陛下のお言葉をいただ



転作大豆の選別に余念のない八柳さん

を、八柳久一さん（六一・大川）が勲六等瑞宝章を受章した。

二木さんは昭和二年からたばこ販売業に従事し、五城目町たばこ小売人組合長を経て、秋田たばこ販売協同組合副理事長を勤めている。今回の受章は業務の精勵が認められたもので、県内からの黄綬褒章は二木さん一人であった。

八柳さんは昭和十五年から四十年間、町の消防団員として活躍し、昨年、十二分団（大川）団長を最後にその任を退いた。今回の受章は長年にわたる消防活動の功勞が認められたもので、勲六等瑞宝章が贈られた。

いたときは感激しました」と受章の感想は控えめだったが、四十年間の消防活動が報われたことを喜んでた。

八柳さんは昭和十五年に消防団に入団し、昨年、団長を最後に退団した。「六十歳になったので定年と考へ退団したが、後進に道を譲ったようになかたちになりました」と笑っていた。

昭和十六年から二十年まで軍隊生活を体験しており、満州に四年、終戦は九州で迎えたそうである。「軍隊経験のない団員は統率にくい面があるようです。軍隊生活を体験した人は、態度や姿勢が違ふし、団員としての基礎を知っています」と若い団員にはちよっときつい言葉もとびだした。

「消防団を退団する年、大川で二件火事がありました。火の用心のピーアールに努力してきたのに」と今でも残念に思っている様子だった。また、「昔に比べて

理事長の年数全国一

黄綬褒章 二木敬治

「今回の受章は、たばこ組合などまわりの人たちの支持や援助のおかげです。健康でよくいままで勤めてこれたものです」と謙虚に喜びを語った。

「店頭でお客さんの相手をするのが楽しい」という二木さんは、薬やたばこを売っている二木敬生堂のご主人。昭和八年に五城目たばこ小売組合の役員に就任して以来、たばこ販売関係の役員を数多く勤めている。現在は秋田たばこ

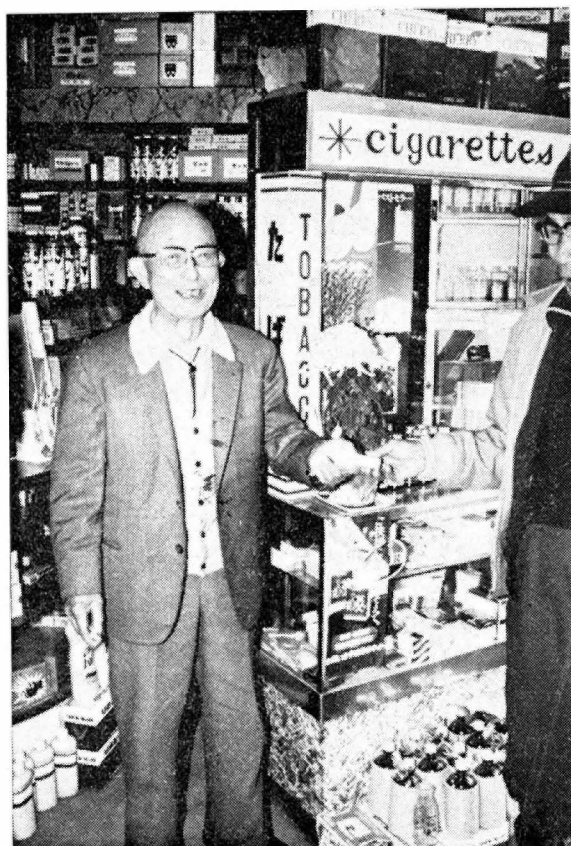
販売協同組合の副理事長の要職にある。当町においても、町議会議員や五城目町公民館運営審議委員会会長などを勤められ、地方自治や教育の面でも活躍している。

二木さんは表彰された回数も多く、昭和五十三年には町功勞者として表彰されている。また、全国でも最も長く組合の理事長を勤めている人である。そのようなこともあって、伝達式では受章者の代表として二木さ

んの経歴が紹介されたし、その後の祝賀会では受章者を代表してあいさつを述べたそうである。「偉い人の前だからといって気にする方ではないので」と屈託が無い様子。

今は孫の成長が一番楽しみだそうである。「学校が休みの日は、娘や孫たちとよくドライブに出かけます」と目を細めた。

二年前に奥さんをなくして以来一人で店を守っている。「近くに娘たちがいるし、店には話し友たちが遊びに来ます」と店に立ち寄った二人の友だちを前にして、インタビューに答えてくれた。



店頭でお客と話しをするのが楽しいという二木さん

団員の補充がむずかしくなりまし」と退団しても消防団のことが頭にあるようだった。

本を読むことが好きで、肩の凝らないものならなんでもよいそう

である。また、旅行も好きで、最近、奥さんを残してハワイまで行ってきたと苦笑していた。

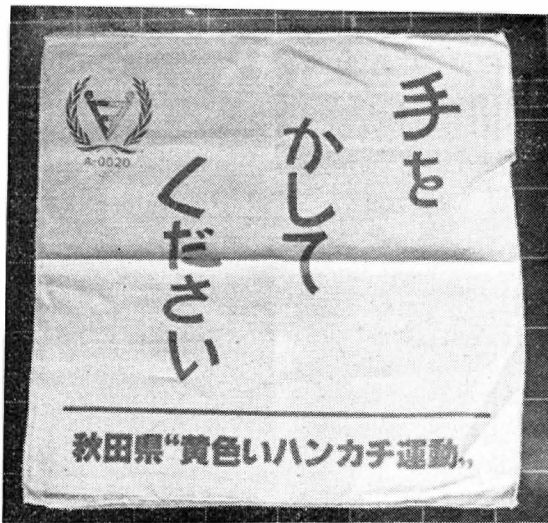
退団してからは農作業や家の雑用が仕事で、インタビューにおじ

やましたときは、転作大豆の選別を行っていた。

黄色いハンカチ運動 障害者が 手助けを求める合図

黄色いハンカチは障害者を持っている人が手助けを求めている合図です。街で黄色いハンカチを振っている人を見かけたらどなたでも気軽に声をかけてください。県内には約六万一千人の障害者を持っている人がいます。黄色いハンカチがあれば、障害者を持っている人でも安心して街を歩けるように、みんなが黄色いハンカチ運動を育てたいものです。

わたしたちが毎日にげなく暮らしている街も、障害者を持っている人にとっては、危険や困難がいっぱいで、街に出るにはたいへんな苦勞があります。障害者を持っている人が、街に出てちよっと手助けをして欲しいと



黄色いハンカチは黄色の地に緑色で文字を印刷してあります

と「黄色いハンカチ運動」が生まれました。この黄色いハンカチには「手もかしてください」と書かれています。障害者を持つ人でも安心して街を歩けるように、黄色いハンカチを振って手助けを求めている人をみかけたら、どなたでも、快く声をかけて手をさしのべてください。

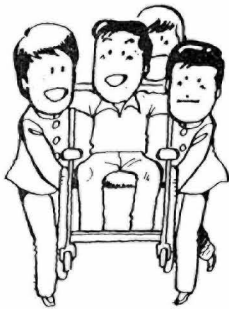
ハンカチ希望の人は
社会福祉協議会へ
黄色いハンカチ運動は、七月に

手助けのイロハ

〔手足の不自由な人〕

車イスの人は、車イスを折りたたんだり、車に積み込むとき、まわりの人の手を借りることがあります。

車イスを押す場合、車イスは傾斜の下がついている方に寄るので、前後左右に気をつけてください。階段を上るときは車イスは前向きに、降りるときは後向きにしてください。



松葉づえの人が一番困るのは、雨降りのときです。カサをさせないし足元はすべる危険があるから

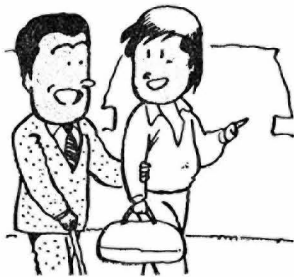
開かれた県社会福祉大会で、エラントア活動をしている主婦が提案したアイデアです。大会後、県社会福祉協議会が、中心になって呼びかけて準備に入り、一万枚のハンカチを用意しました。このハンカチは三五センチ×三四・五センチで、黄色の地に緑色で「手もかしてください」「秋田県「黄色いハンカチ運動」」と文字を印刷してあります。黄色いハンカチを希望する人は五城目町社会福祉協議会（電話2768）に連絡してください。

です。また混みあう乗物や、階段もなかなか大変です。こんなときまわりの人の手を借りることがあります。



〔目の不自由な人〕

目の不自由な人の白いつえは、

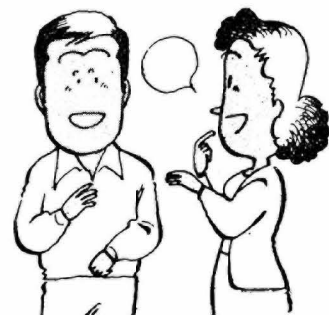


目の役目をしていきますので、つえを持つている手を引いたり、つかんだりしないでください。目の不自由な人を案内する場合は、白いつえの反対側に立って腕をかし、半歩前を歩くようにします。方向や場所を教えるときは、左右、前後、何歩、何メートルと正確に話してください。

〔知恵遅れの人〕
知恵遅れの人たちは、コツコツ



とまじめに物ごとを進めていく能力では、普通の人には劣るものではないかもしれません。良い面を最大限に生かしてあげてください。



〔耳の不自由な人〕

耳の不自由な人へは、ジェスチャーを交えながら、口を大きくあけて、はっきり、ゆっくりと正面から話してください。また、手話や筆談でも話ができます。

《県民手帳》

「ご希望の方は早目に」

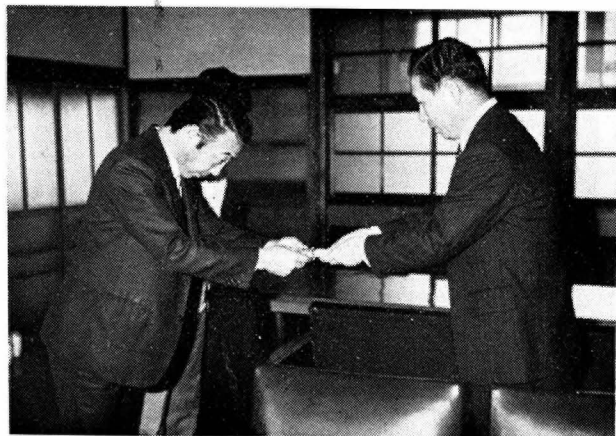
昭和五十七年用秋田県民手帳をまだお求めになれます。ご希望の方は早目に申し込んでください。

最新の統計資料が豊富に載っており、日常生活に役立つポケット版です。

▽主な内容

- ①日記編……毎日のメモに
- ②統計編……県市町村の主要統計など
- ③便覧編……主要官公庁・公社・施設など
- ④手控編……住所録や電話番号などの整理に
- ▽装丁
ポケットサイズ八cm×一二cm
- ▽価格 三百円
- ▽申し込み先
役場庶務課 電話2100

斉藤民謡会チャリティショー — 45810円の善意贈る —



石川参事に善意を贈る斉藤さん

十一月十五日正午から農協会館を会場に第一回斉藤民謡会チャリティショーが開かれた。当日は全国民謡大会で日本一になった斉藤さんをはじめ、教室で練習しておられる三十人ほどのみなさんと、南秋の各支部秋田・土崎支部のみなさんの応援出場もあり四百人の観衆を魅了した。

この町からは三味線の工藤さん、尺八の金野さん、秋田追分の菅生さんなど多士済々の出演であったが、なかでも「南部俵積み唄」を歌った富津内小学校五年生、伊藤美代子さんの堂々たる節回しは大人も顔負けで「出雲の国の大福神 日本中の渡り者」ラ俵積みの先生」だと歌い終るともうさかなな拍手がおこられた。

この民謡会は、五城目支部の発表会とチャリティショーを兼ねたもので、十一月十七日、斉藤範夫、菅生勲の両氏と伊藤顧問の三人が役場を訪れ、四万五千八百一十円を社会福祉のため役立ててほしいと、住民課の石川参事へ手渡した。

年末を目前にしての善意に関係方面から深く感謝されている。

猿田さん人工授精師に

猿田政博さん（二九・上樋口）が人工授精師の資格を取得した。猿田さんは、神岡町にある県畜産試験場で二十三日間の講習を受



猿田 政博

けて有資格者になったもので、今後人工授精による和牛の体質改善にあたる。また、人工授精や繁殖などについて飼育農家の相談に応じる。

猿田さんは現在、自分でも繁殖和牛を二頭飼育しており、各種畜産関係の講習会などに積極的に参加している。

町では、昭和四十九年度から和牛の導入事業を行い、米プラス畜産の複合経営を奨励してきた。年々飼育農家は増加しており、実際に繁殖和牛を飼育している人工授精師として、猿田さんの活躍が期待される。

四人に表彰状や感謝状

北税務署管内納税表彰

秋田北税務署管内の五十六年度納税表彰式と納税貯蓄組合法施行

▽秋田北税務署長感謝状

原田甚一郎（富田）
鍋谷 芳郎（長町）
▽秋田北地区納税貯蓄組合連合会長表彰

斉藤 長吉（田町）
八木下照全（築地町）

カメラリポート

放送利用の成果を発表

学級生など約30人が参加

十一月十八日、町民センターで放送利用学級生や家庭教育学級生など約三十人が参加して、社会教育における放送利用公開研究会が行われました。

この研究会は、当町が放送利用学習のモデルに指定されていることから、町と県、NHK秋田放送局が共同で開催し、放送を利用した社会教育の進め方の成果を発表し、今後のあるべき姿について研究協議しようというものです。

放送利用グループの泉谷弘子さんと石井三千代さん、伊藤容一郎さんが事例発表を行いました。その後、県教育庁とNHK秋田放送局の人たちを助言者にして、お互いの意見を交換しました。テレビの見方が変わった「親と子がテレビの話題を中心に話し合うようになった」などの意見がでました。



園児から花束を受けの一関さんと伊藤さん（左）

森山号の運転手さんに花束

五城目保育園の園児たちがプレゼント

五城目保育園の園児たちが、勤労感謝の日の近づいた十一月二十日、福祉バス森山号を運転している伊藤道春さんと、その運行計画にたずさわっている社会福祉協議会の一関勝己さんに花束を贈り、日ごろの業務に感謝しました。

園児たちは、いこいの森などにしかけたときなど教回、森山号に乗っており、運転手の伊藤さんと顔なじみ。代表の園児二人が「ご苦労さまです」と言って花束を手渡しました。

大きな花束を受けて一関さんは「森山号の運転手さんは、運転がたいへんじょうずです。これからも安心して森山号に乗ってください」と園児たちにお礼を述べました。



事例発表する「どんぐり放送利用グループ」の泉谷さん（中央）

南秋ミニバスケット

五城目小(男) 他を圧倒

第九回南秋田郡ミニバスケットボール教室交歓大会は十一月二十一日、二十二日、広域体育館で行われ、五城目小学校の男子チームが危なげない勝ち方で優勝した。大会には男子十二チーム、女子十三チームが参加。当町からは五城目、大川、馬場目、内川、杉沢の各小学校から男女あわせて八チームが出場した。

五城目小の男子チームは、決勝までの二試合とも相手チームを寄せつけず、決勝でも飯田川小を44対15と圧倒した。馬場目小の男子チームも健闘したが、準決勝で優勝した五城目小とあたり取れた。五城目小の女子チームは二回戦



五城目小男子は決勝でも飯田川小を終始リード

で飯田川小と対戦し、一ゴール差で敗れた。女子の優勝は追分小、準優勝は大久保小。当町関係分の試合結果は次のとおり。

追分	50	29	大川
内川	48	13	野石
五城目	36	24	豊川
大久保	65	17	馬場目
▽同二回戦			
八郎潟	32	12	内川
飯田川	30	28	五城目

▽男鹿南秋剣道大会

個人戦は地元が活躍

第三十回男鹿市南秋田郡剣道大会は、十一月十五日、五城目小学校体育館で選手約百人が参加して行われた。

中学校男子団体で羽城中学校のチームが、女子は天王中学校が優勝し、地元五城目第一中学校は男女とも決勝進出はならなかった。

しかし、一般団体で五城目チームが優勝し、真新しい優勝旗が手渡された。この優勝旗は、男鹿市南秋田郡剣道連盟の渡辺誠之助会長が、三十回開催を記念して寄贈したものである。

一般個人戦では地元選手が活躍し、二部門とも地元選手が優勝した。

▽中学校男子団体

・準決勝

羽城A 4-1 大潟中A

天王A 3-1 五城目A

・決勝

羽城A 2-0 天王A

▽中学校女子団体

・準決勝

天王A 5-0 五城目B

羽城(内容勝ち) 2-2 五城目A

・決勝

天王A(代表戦) 2-2 羽城

▽一般団体戦

勝

第24回全町卓球大会

11月15日 五城目一中体育館

【団体】

▽職場対抗

①役場A ②下町商店会

③農協信用金庫

▽中学校対抗男子

①五城目一中A ②五城目一中B

③五城目一中C 杉沢中

▽中学校対抗女子

①五城目一中A ②五城目一中C

③五城目一中B

【個人シングルス】

▽一般男子

①三戸 八郎潟

②佐藤 五城目高

③一関(文) 五松堂

③猿田(尚) 五城目一中

▽一般女子

①三浦

②工藤

③石川

③石井

▽30歳代

①一関(文) 五松堂

②一関(国) 佐川急便

③三戸

③本間

▽40歳代

①猿田(和) 猿田商店

②猿田(優) 信用金庫

③小玉

③猿田(栄) 昭辰町

▽50歳代

①田口 歯科医院

②猿田(栄) 昭辰町

▽家庭婦人

①一関 矢場崎

②工藤 畑町

③近野 昭辰町

③館岡 高崎

【個人ダブルス】

▽一般男子

①三戸・一関(文)

②佐藤・加藤

③猿田(和)・鈴木

③一関(国)・猿田(優)

▽一般女子

①館岡・斉藤

②石井・三浦

③伊藤・工藤

③石井・三浦

AVC、東北機械、田沢湖ク1勝1敗(セット数で田沢湖クが代表)

▽Dブロック

①大曲ク2勝 ②経大付高ク1勝

1敗 ③五城目町役場2敗

▽準決勝

秋工ク 2-0 大森ク

田沢湖ク 2-1 大曲ク

▽決勝

秋工ク 2-1 田沢湖ク

▽Aブロック

①ヨシダスポーツ2勝 ②男鹿市

1勝1敗 ③西仙北町2敗

▽Bブロック

①田沢湖町、県信連、五城目ク

1勝1敗(セット数で五城目クが代表)

▽決勝

ヨシダス 2-2 田沢湖ク

ポーツ 2-1 五城目ク

五城目女子決勝で敗れる

第七回秋田県九人制バレーボール

秋田県九人制バレー

五城目女子決勝で敗れる

第七回秋田県九人制バレーボール

五城目女子決勝で敗れる

第七回秋田県九人制バレーボール

第七回秋田県九人制バレーボール



當季雜詠

佐藤	北島	沢田	石井	三浦	伊藤	小林	田中	伊藤	佐藤	草皆	猿田
羊村	緋佐子	石和子	溪堂	綠葉	碧山	与根	芳朗	芳穂	流水	茂樹	天鳴

石川 進	伊藤 芳穂	齊藤耕之助	伊藤 正蔵	齊藤 諒一
------	-------	-------	-------	-------

桜木の名を
阿部 みわ
花へ秋の
佐藤 流水
結取りをと
泉谷 時治

松橋正之助
に眩しく湯
佐藤 栄子
夫の最後
山平 富子
がりにえ
土橋 茂徳

ひたに出
山平 富子
すらに無
草皆 チエ
と呉服押
藤原 ふみ
徳の妻の涙
鍋谷フクエ
ふきダリヤ
船木 セツ

本間 酒好
長沢 山女
加藤 円心
長沢 仙里
本間 玉女
細田 陽炎
嶋崎 あやめ
石川 富司

「母さん、ガスコンロの火っこ、
けでえだがー」と、大きな声がし
た。聞きなれた祖母の声である。
続いて流しの方から、

そこで、非課税となる利子所得の種類と金額について説明しましょう。

十二月は年末休暇のため納付期限が十二月二十五日となっていますので注意してください。

歳末たすけあい運動

12月1日～15日



【おしらせ】

「あすの東北を考える」

論文募集 東北電力

東北電力(株)では、創立三十周年記念として二十一世紀をめざす東北の進路とその未来像についての論文を募集しています。東北の今後のあるべき姿を、歴

「あすの東北を考える」

▽テーマ

▽原稿枚数

四百字詰め原稿用紙十五枚以上二十枚以内

(住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記すること)

無料人権相談所

次の内容で無料人権相談所が開設されます。土地家屋の権利問題、親子、夫婦、扶養、相続、登記、戸籍、供託、交通事故などでお困り

の方は気軽に利用してください。相談事項は一切秘密に扱います。▽日時 12月8日(火) 午前10時～午後3時

▽場所 五城目町役場 人権擁護委員、法務局職員



▽締切り

昭和五十七年一月三十日

(当日消印有効)

▽入選発表

入選者に対しては個別に通知するとともに、最優秀作品については、東北電力発行の「東北電力ニュース」と「家庭と電気」に掲載する

▽応募資格

新潟県を含む東北七県に在住の満十八歳以上の個人またはグループ(東北電力従業員とその家族は除く)

▽表彰

最優秀賞 一編 賞金五十万円
優秀賞 三編 賞金二十万円
佳作 十編 賞金 五万円

▽送り先

東北電力株式会社
広報室 論文募集係
〒980
仙台市一番町三丁目七〜一
電話0222(25)2111

歳末たすけあい運動

—社会福祉協議会—

毎年行っています歳末たすけあい運動を、十二月一日から十五日まで行うことにしました。この運動は町内のみならずの暖かい思いやりとたすけあいの心を呼びおこし、生活に困っている家庭の人など、みんなそろって明るい正月をむかえるためのものです。町内のみならずのご協力をお願いいたします。

①たすけあい義援金については、一世帯三百円以上お願いします。
②封筒には金額、町内部落名、氏名をお書きください。
③たすけあい金の配分については配分委員会に諮り決定し、十二月末までに対象家庭に配分します。

国の進学ローン

▽ご利用いただける方

学校教育法に定める高校、高等専門学校、大学、専修学校等に進学される方のご父兄または進学される方で、次に掲げる方

①世帯の年間収入が六百万円(事業所得者の方は所得金額が四百四十万円)以内の方
②進学積立郵便貯金の預金者で郵

政大臣のあつせんを受けた方

：郵貯貸付

▽資金の使いみち

学校納付金等進学のため必要な資金

▽ご融資額

①一般貸付 五十万円以内
②郵貯貸付 進学積立郵便の積立額の範囲内(ただし最高五十四万円)

▽ご融資期間 修業年限以内
ただし四年以内(据置期間一年以内含む)

▽利率

ご利用時の公庫の基準金利

▽返済方法・その他

返済は割賦(月賦)払いです。希望によりボーナス時にも増額して返済することもできます。

・保証人は一名以上必要です。

(財団法人進学資金融資保証基金を利用される場合は不要です)

▽お問合せ先

秋田市千秋失留2番8号
国民金融公庫秋田支店
電話0188-3215641

婦人会学習クラブ

五城目婦人会では現在のクラブに加えてさらに四つのクラブを新設、再開します。

初心者の方を歓迎します。年齢は問いません。会費は月三百円程度です。現在会員でない方、他の婦人会員、若妻会員などでも希望の方は応募してください。

申込みは十二月十五日までに左記のいずれかへお願いします。

- ② 3967 渡辺
- ② 3673 泉谷
- ② 4327 阿部

▽俳句クラブ(新設)

・学習日 毎月 十日 午後一時
・場所 旧町内の会館
・講師 萩原映秀先生

「魁」の選者

▽園芸クラブ(新設)

・学習日 毎月 十一日 午後一時
・場所 新町 中村先生学習室
・内容 一般園芸
・講師 交集中

▽手芸クラブ(再開)

▽スポーツクラブ

・学習日 毎月 第二、第四水曜日
・場所 秋銀 二階
・講師 池田啓子先生

※短時間でできるものから取扱います

秋田県12月テレビ広報番組

▽ABS秋田放送

テレビ県民室
午後5時～5時15分
6日 エネルギーについて
13日 ふるさとの文化遺産

20日 あきた東西南北
27日 秋田県報告

▽AKT秋田テレビ
県政の広場

県政の広場



老人ホームに
寄せられた善意

十月三十日

長寿祈願および慰問

秋田県神道青年協議会
十一月十日

美容奉仕

秋田県美容環境衛生同業組合
南秋支部(五城目地区)